

書画カメラとプロジェクタ



使用方法について

撮影した写真や図を投写するために

はじめに

手順を確認しましょう

- 1 使用機器や必要物品を準備する。
- 2 使用場所に置き，各機器をコンセントに接続する。
- 3 ビデオ映像用ピンプラグケーブルで接続する。
- 4 電源を入れる。
- 5 書画カメラが撮影したものをプロジェクタから投写させる。
- 6 映像を調節する。

1 使用機器や必要物品を準備する

必ず準備するもの

- 書画カメラ
- プロジェクタ
- ビデオ映像用ピンプラグケーブル

必要に応じて準備するもの

- 電源用延長コード
- プロジェクタ台

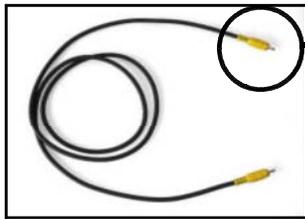
2 使用場所に置き，各機器をコンセントに接続する

書画カメラとプロジェクタを，それぞれ使用したい場所に置きコンセントに接続します。近くにコンセントがない場合は電源用延長コードを使って接続します。



3 3 ピンプラグケーブルで接続する

<ビデオ映像用ピンプラグケーブル>



<ピンプラグ>

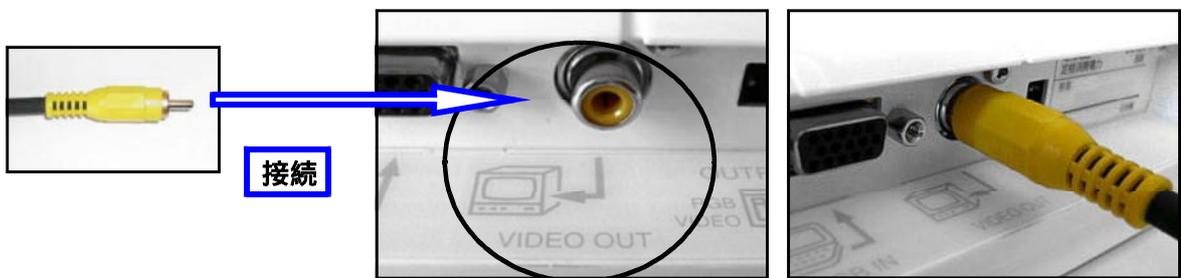


黄：映像用

映像用（黄）と音声用（白，赤）のピンプラグ3本の
ものでも使用可能です。

ピンプラグケーブルを書画カメラに接続します。

<書画カメラの[VIDEO OUT]端子にピンプラグケーブルを接続する>

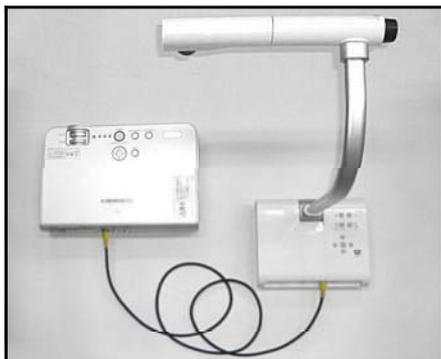


ピンプラグケーブルをプロジェクタに接続します。

<プロジェクタの[VIDEO IN]端子にピンプラグケーブルを接続する>



ピンプラグ（1本-黄）の場合

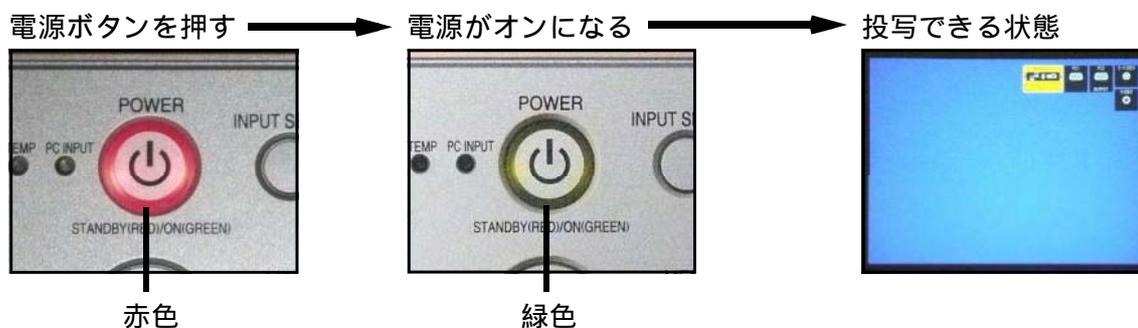


ピンプラグ（3本-黄白赤）の場合

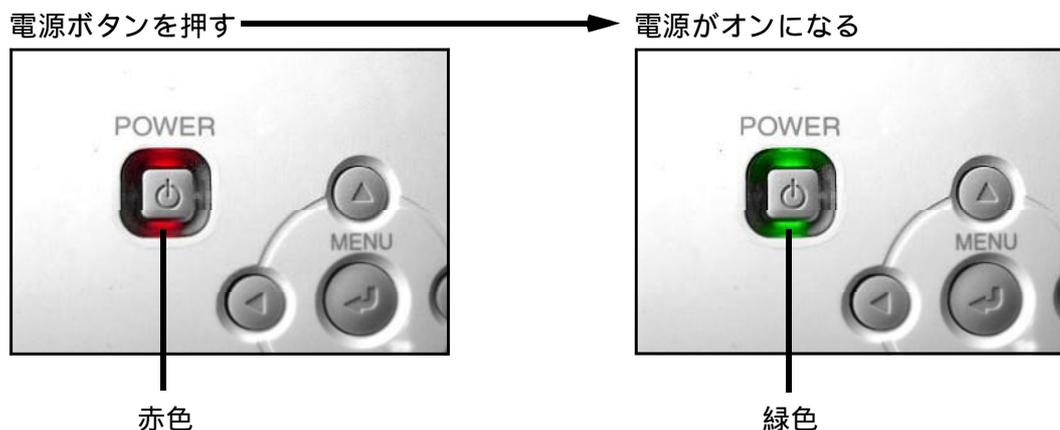


4 電源を入れる

電源を入れ、プロジェクタから投写できるようにします。



書画カメラの電源を入れます。

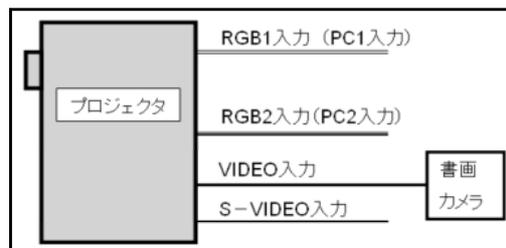


5 書画カメラで撮影したものを プロジェクタから投写する

プロジェクタ側の操作 ~ プロジェクタをVIDEO入力にします。

プロジェクタへの入力信号を選択します。書画カメラをプロジェクタのVIDEO入力端子に接続しましたので、VIDEO入力からの信号を選択します。

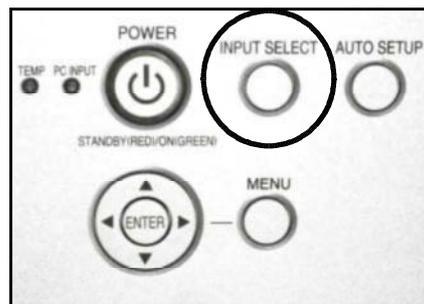
プロジェクタ本体やリモコンにある「入力選択ボタン (INPUT SELECT)」や「ダイレクト入力選択ボタン (DIRECT INPUT SELECT)」を押して設定します。入力信号が1つだけの場合プロジェクタが自動的に入力選択を設定してくれるものもあります。



< プロジェクタの操作ボタン >

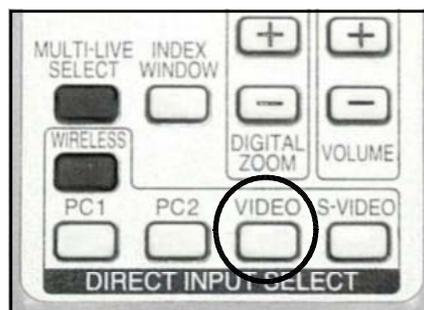
プロジェクタ本体にある「入力選択ボタン (INPUT SELECT)」を押し、V I D E O入力に設定します。

押す毎に、入力信号がR G B 1 , R G B 2 , V I D E O入力等に切り替わります。



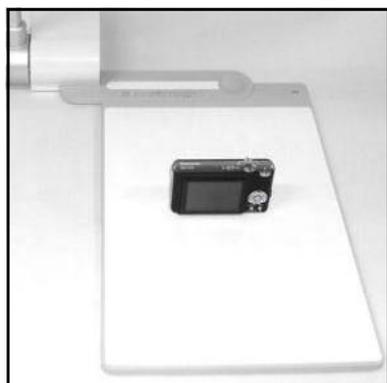
< リモコンの操作ボタン >

リモコンにある「ダイレクト入力選択ボタン (DIRECT INPUT SELECT)」のV I D E O入力を押し設定します。



書画カメラ側の操作 ~ 撮影したいものをステージの上に置きピントを合わせます。

撮影したいものをステージに置く → 見せたい部分にピントを合わせる



Z O O M (O U T , I N)
見せたい部分の大きさに
合わせて拡大縮小します

A F (オートフォーカス)
ボタンを押すと自動的に
ピントを合わせます



< 書画カメラが撮影したものがプロジェクタから投写されます >



6 映像を調節する

プロジェクタの映像を調節する方法については、P 5 からの「コンピュータとプロジェクタ、6 映像を調節する」に記載してあります。そちらを参考にしてください。

留意点について

1 投写した写真や図をはっきり見せるためには

写真や図を乗せる書画カメラのステージ上が明るくなければ、投写された映像も暗くなり写真や図が見にくくなってしまいます。書画カメラの照明をつけるか教室を明るくして使用しましょう。

書画カメラ自体にステージ上を照らす照明が付いている機種があります。このような機種であれば照明を使用することにより写真や図をはっきり見えるように投写することができます。

書画カメラ自体に照明が付いていない機種の場合は教室を明るくして使用しましょう。教室の電気をつければ書画カメラのステージ上は十分明るくなります。

教室の電気をつければスクリーンが見にくくなるのが気になりますが、P11の「コンピュータとプロジェクタ 留意点について 授業で使用する前に 1 画面の明るさと教室の明るさ」で記載してあるとおり、プロジェクタの種類によっては教室を暗くしなくても十分にスクリーンを見ることがありますので、明るい教室で使用することができます。

照明が付いていない書画カメラを使用するときには、事前に教室で投写し授業で使用するときに不都合がないか確認しましょう。

< 照明あり >



< 照明なし >



2 「書画カメラ」?

留意点ではありませんが、「書画カメラ」って何?と思う方がいるかもしれません。「書画カメラ」は「教材(資料)提示装置」「OHC(OverHeadCamera)」「実物投影機」等とも呼ばれている装置です。呼び方が異なるからといって性能や使い方が異なるわけではありません。どれも基本的に、写真や書類や立体物などを上からカメラで撮影し、その映像をプロジェクタなどで映し出す装置です。